

2 月月例集会校長講話要旨

今日は避難訓練を行ってからの集会でした。日頃から緊急時の備えをしておきましょう。3週間前のことからお話をします。

○阪神・淡路大震災30年

今から30年前の1995（平成7）年1月17日（火）午前5時46分52秒。まだ夜明け前に、僅か10秒間の直下型地震が神戸市を中心に襲いました。最終的に震度7の激震でした。地震の性格は「活断層内陸直下型地震」で、体験した人に取れば10秒間ではないという感じだったのですが、地震計では10秒間の揺れしか観測していなかったということでした。

今年は阪神・淡路大震災30周年ということで、新聞の特集記事やテレビなどでも特別番組が放映されたので、関心のある人も多いことでしょう。

新年早々の夜明け前の大地震で、「関西地方には地震は少ない」という思い込みから、東京中心の報道では震度が6になったり、取り消されたり、同じ映像が繰り返し流されたりしていました。

最終的に6400人を超える死者を出したほか、高架になっていた高速道路が連続しての倒壊や、神戸市の住宅密集地帯の長田区を中心に多くの火災が起きました。被害範囲は、大阪・神戸間の長さ20～30kmで、幅は海岸線から2kmほどで地域としては、狭いエリアになるのかもしれませんが、しかし、人口の密集した地域でしたから多くの人々が犠牲になり、避難生活を強いられました。東京では、当日の午後くらいから、テレビなどの報道が、神戸を中心にした被害の状況を伝えるようになりました。

兵庫県南部地震に伴う阪神・淡路大震災をきっかけに震度判定と階級の見直しが行われ、地震による揺れの大きさを表す震度判定を、震度7を含めて震度計で計測することになり全国570か所に震度計を整備するとともに、震度5と震度6は被害の幅が広すぎるとして、それぞれ強弱をつくり震度5強、震度6弱と発表することになり現在に至っています。

この地震被害を教訓に、様々な災害対応、準備態勢などが見直されましたが、2011年の東日本大震災は規模も被災面積も大きく、被害は甚大でした。

阪神・淡路大震災から30年、日本列島は常に大きな地震に見舞われてきました。専門家によれば「日本列島は大地動乱の時代に入った」とも言っています。これまでの日本列島での大きな地震を挙げてみます。

平成12（2000）年

10月6日 鳥取県西部地震。最大震度6強（日野町で震度7を観測）

平成15（2003）年

5月26日 三陸南地震、宮城県北部沖地震。最大震度6弱。

7月26日 宮城県北部地震。最大震度6強。

9月26日 北海道十勝沖地震。最大震度6弱、津波による死者・不明者2人。

平成16（2004）年

10月23日17時56分ごろ 新潟県中越地震。最大震度7。

計測震度計で震度7が観測された最初の地震。死者68人。

平成19（2007）年

3月25日 能登半島地震。最大震度6強。死者1人、津波も発生。

平成23（2011）年

3月11日14時46分ごろ東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）マグニチュード9。

日本の地震観測史上最大。最大震度7。他に岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉8県で震度6弱以上を観測。死者・行方不明者約2万2000人。戦後最悪の震災でした。

北海道から関東地方にかけて太平洋沿岸部への巨大津波で甚大な被害。

東日本大震災については、3月11日でお話しします。

3月12日 長野県北部地震。最大震度6強、死者3人。東北地方太平洋沖地震の誘発地震。

平成28（2016）年

4月16日 熊本地震。本震最大震度7。前震を含めて死者276人。

2日前から震度7や、6強の地震が起こる。

平成30（2018）年

6月18日 大阪府北部地震。最大震度6弱。死者6人。

9月6日 北海道胆振東部地震。最大震度7。死者42人。

北海道全体が停電して、2日以上のブラックアウト。

令和5（2023）年

5月5日 石川県能登半島で最大震度6強。死者1人。

令和6（2024）年

1月1日 令和6年能登半島地震。最大震度7。死者341人。

能登半島では、2007年以来3度の大きな地震に見舞われ、また、この間も中小の群発地震が襲っていました。

去年1月1日「令和6年能登半島地震」は午後4時すぎに発生しました。14年前の東日本大震災は3月11日午後2時46分すぎでした。地震はいつどこで発生するかわかりません。

もし学校で大きな地震にあったら、学校が皆さんにとって最も安全な場所になります。地震による被害や影響が収まるまでは学校で待機することになります。外出先等で地震にあったら、家族の連絡手段等をあらかじめ確認しておきましょう。「備えあれば憂いなし」という言葉があるように日ごろから地震などの災害に備えるようにしなければなりません。

30年まえの出来事に戻ると、この時の政府は、社会党と自民党の連立政権で、総理大臣は社会党の村山富市でした。そして、3月20日には、オウム真理教による地下鉄サリン事件が起こり、都心の霞が関を中心に多くの被害者を出しました。

○今年はいくつかの節目の年

阪神・淡路大震災30周年、地下鉄サリン事件から30年、始業式でもお話しした昭和100年など、今年が節目になる年のようなようです。

主なものを挙げると、男子普通選挙100年。1925年に加藤高明内閣の下、25歳以上の男性に選挙権が与えられました。それまでは納税額によって選挙権が制限された制限選挙でしたが、全ての男性に選挙権があるようになりました。女性の選挙権は第2次世界大戦後まで待たねばなりません。

外交関係でいうと、日韓国交正常化60周年です。日本と韓国・大韓民国との国交は60年前に樹立しました。また、サミット会議50周年。1975年に第1回先進国首脳会議（サミット）がフランスのランブイエで開催され、日本とアメリカ、イギリス、フランス、当時の西ドイツ、イタリアの首脳が集まり各国間の調整等がはじまり、現在に至っています。

そして、忘れてならないのは戦後80周年です。1945年8月に我が国は第二次世界大戦の終戦を迎えました。それから80年経過しました。このことについては、7月、もしくは8月にお話ししたいと考えています。

○最後に

インフルエンザや、新型コロナ、感染性胃腸炎など、この時期多くの方が罹患しています。くれぐれも健康管理に気を付けてください。